

収録日：2025 年 4 月 18 日

直滑降ストリーム特別企画「県議と知事の紅茶懇談」は、群馬県議会議員をお招きし、親しみやすく身近なテーマでお話をするシリーズです。

それぞれの県議の人柄や趣味の話など、幅広く話をしています。議会でのやりとりだけではなかなか見えない部分も、お伝えできると考えています。

第5回目のゲストは、日本共産党の酒井宏明県議です。番組では、幼少期から始めた趣味の将棋や、高校時代に SF 小説を執筆されていたこと、お気に入りの本などについて、お話を伺いました。酒井県議の人情味あふれるお人柄が伝わる内容となっています。



第5回 酒井 宏明 県議（日本共産党）

山本一太群馬県知事（以下、知事）
直滑降ストリーム「県議と知事の紅茶懇談」を配信させていただきます。

この番組の趣旨は、県議の皆さんと難しい政策論争の話をするのではなく、その県議のお人柄や趣味などをお聞きして、県民の中で、県議会議員ってどういう役目を果たしているのだろう、といったような声があるので、皆さんに少しでも身近に感じていただくために始めたシリーズです。

今日は日本共産党の酒井宏明

県議に来ていただきました。よろしくをお願いします。

酒井宏明県議（以下、県議）
よろしくお願いします。

プロフィール
知事 まず、酒井さんのプロフィールをご紹介します。選挙区は前橋市、日本共産党所属で、当選回数4回、出身地が高崎市、趣味は音楽鑑賞、映画鑑賞、美術鑑賞、読書、コーヒーハンドドリップと書いてありますが、これから紐解いていければと思います。

生い立ち
知事 酒井さんはどんな子どもだったのですか。

県議 おとなしい子で、あまり手はかからなかったというふうに親からは聞いています。

高崎市に生まれて、小学校のときに祖父から将棋を教わりました。中学生のときはソフトテニスをやっていましたが、高校生の時に将棋部に入り、本格的に将棋を始めました。今でも、新聞に掲載される詰将棋をやっています。

知事 高校は高崎高校ですね。

県議 そうです。将棋部と文芸部を掛け持ちしていて、小説を書いたり、詩を書いたり。『翠巒』という雑誌も発行していました。

知事 文化活動をやっておられたんですね。小学生のときに祖父から将棋を教わって将棋のことを大好きになったということですが、将棋の魅力は何ですか。

県議 取った駒が使えるというのが魅力ですかね。チェスはもう取った駒は使えないですよ。でも将棋は取ったコマが使えるということで、そこが魅力です。

知事 ものすごく深い世界ですよ。手の読み合いも、ちょっとチェスに近いところがあるかもしれないけど、ほとんど逆転不可能だっていうところからひっくり返ることもありますよね。

高崎高校の将棋部でも活躍された酒井さんから見て、自分の将棋の特徴はありますか。

県議 守りですかね。守っていてチャンスだなと思ったら攻めるという、そんな感じですね。

知事 忍耐の将棋みたいな。

県議 そうですね。

知事 面白いです。これだけで話が終わってしまうので次にいきますが、高崎高校はどんな学校でしたか。

県議 のびのびとやっていたね。

知事 高崎高校って、総理も出ていますが、芸術系の人とかも出ますよね。自由な雰囲気があるんですかね。

県議 自由な雰囲気はありますね。昔は下駄履いて登校したって

というような話も聞きました。自分はそんなことはなかったですけど、のびのびと自由にやっていたね。

知事 その後、大学に進学された。金沢大学ですか。

県議 そうです。

知事 何で金沢大学を選んだのですか。

県議 のんびりしているようなイメージがありましたし、古都・金沢ということで、行ってみたかったというのもあり、法律の勉強もしたかったのだ。

知事 法律にご興味があったのですね。

県議 そうです。一度、弁護士を目指して、司法試験を受けましたけど、断念して政治の世界に入りました。

知事 金沢大学、すごく綺麗なところだと聞いています。ただ、天気はいつも曇りだと聞いたことがあります。

県議 「お弁当を忘れても傘を忘れるな」というくらい、冬はほぼ晴れるときがないですね。お正月とか、高崎の実家に帰ってきたときに、何で晴れているんだろう、みたいな。曇っていて当然みたいな、そういう感じがありました。

知事 ロンドンみたいですね。

それで金沢大学を出られて、どういうきっかけで政治を志すようになったのですか。

県議 学生時代、民主青年同盟にお世話になった先輩がいました。その先輩に惹かれて、そういった活動に足を踏み出しました。

元々、自分は貧乏学生でバイト

に明け暮れて学費を稼いでいました。授業料も半額免除で、奨学金も借りていたんですが、それでも大変で、「何でこんな大変なんだ」と。社会の矛盾のようなものを感じて政治の世界に入っていた感じです。

知事 いろいろなバイトをされたと聞いたのですが、どういうことをされていたんですか。

県議 コンサートの会場設営や中華料理屋さん、フランス料理店、塾の講師などです。バイト三昧でバイトに明け暮れていたという感じですね。

知事 大学時代は、学費を稼ぐためのバイトと勉強みたいな感じで。そういう中で、少し社会の矛盾を感じられて、政治を志したということなんですね。

収録前に酒井さんと話していて、奥様との馴れ初めを聞いたら、ちょっと私も関係があるということで。2007年に私が参議院選挙に出たときに、酒井さんも出られたんですね。

県議 そうです。候補者として。

知事 その選挙運動で奥様に会われたとお伺いしたのですが、結構私も関わっているじゃないですか。

県議 関わってはいますね(笑)。

知事 その中で知り合って、デートを重ねたりしてという感じなんですか。

県議 そうです。

知事 ちょっとだけ聞かせていただきたいんですけど、どういう所でデートされたのですか。例えば、映画に行くとか？

県議 映画やドライブには行きましたね。今は一緒に群響のコンサートに行ったりとか、美術館に行ったりとか。県立の美術館や土屋文明記念文学館も利用します。

知事 県立美術館素晴らしいと思いませんか。

県議 素晴らしいですね。それと歴史博物館にもよく行きます。

知事 埴輪とか、ここまでのレベルなのかというね。

県議 東京国立博物館で行われた埴輪展にも行きました。

知事 私も行きました。すごく人が多かったですね。

県議 多かったですね。並んで入りました。

☞ 趣味

知事 趣味の話にいきたいと思いますが、音楽鑑賞、映画鑑賞、美術鑑賞、読書、コーヒーハンドドリップということ。

県議 コーヒーに関しては、最近あまり時間がないので、挽いたりはしてなくて、粉を買ってきて、ハンドドリップが多いです。

知事 私はコーヒーにはあまり詳しくないんだけど、友人がすごく凝っているの、時々、入れてもらうことがあります。どういうコーヒーが好きなんですか。

県議 酸味の強いコーヒーが好きです。朝、すっきりする感じがして。いろいろ飲みますけど。

知事 私は酸味が少ないほうが好きなんです。淹れ方のコツとかありますか。

県議 そんなにこだわってはいないですね。

知事 趣味をいろいろ書いていただきましたけど、他にお好きなものとか、ハマっているものはありますか。

県議 読書です。県立図書館をよく利用します。あまり本を買うと、家が本で埋まってしまうので、あまり買わないでと言われてます。県立図書館や前橋市立図書館などで借りることが多いですね。

知事 どんな本を読んでいるんですか。

県議 高崎高校出身の武内涼さんの本は全部持っています。歴史ものとか、そういうものを。

知事 存じ上げていますけど、読んだことがないので、何がおすすめでしょうか。

県議 『敗れども負けず』もいいですし、『厳島』もいいですね。本当にのめり込むというか、そんな感じで、寝不足の日々が続いてしまうような。

知事 素晴らしいですね。『厳島』はたしか、戦国武将の話ですね。

県議 そうです。戦国時代のものが多いですね。

知事 早速、読ませていただければと思います。こういう、わくわくするようなものがお好きなんですか。

県議 そうですね。歴史小説とかは好きです。

知事 高崎高校時代に小説を書いていたらとお聞きしましたが、どういう小説を書いていたんですか。

県議 どちらかというと、推理ものの、SFのような感じですね。

知事 SF が好きなんですか。

県議 高校時代は SF 小説ばかり読んでいました。眉村卓とか、小松左京とか。

知事 結構私と共通点もあるな～。

県議 今も、時間があれば書きたいなと思っているんですけど。

知事 ぜひ書いてください。必ずサイン会には行かせていただきます。

☞ 好きなエンタメ

知事 好きな漫画などはありますか。

県議 『戦争は女の顔をしていない』という漫画です。ソ連とドイツの第二次世界大戦で、ソ連の女性兵士のことを描いたものです。文庫本も出ています。涙なくしては読めない、そういう本です。

知事 これも読ませていただきます。他にはありますか。

県議 『はだしのゲン』は好きです。やっぱり、もう二度と戦争をしてはいけないという思いを強くしますね。ほかに、『ペリリューー楽園のゲルニカー』も読みます。

知事 はだしのゲンは、少年ジャンプで連載していたんですね。私は少年ジャンプ創刊号から読んでいますが、子どもの頃に連載していて、他のジャンプの作品と全然違う内容のものが出てきて、衝撃を受けたのを覚えています。

ペリリュー島の漫画は、戦争の舞台になった場所の物語ですね。

県議 兵隊として行って、戦闘で死ぬより飢えで死ぬ方が多かったという、象徴的な場所ですね。

南の遠い島で、そういうことがあったというのは、若い人ってあまり知らないと思うんですね。自分たちの世代でも、そういうものを読んだり聞いたりしないと。学校ではなかなか教わらないですから。

知事 何回も読んだことはないですが、たしか2頭身とか3頭身みたいな絵で柔らかいけど、強烈なメッセージ性がありますよね。

県議 議会図書室にも入っていますので、ぜひ、借りていただければと思います。戦争のリアルという部分を伝えていくのは大事なことですよね。

知事 今のいろいろなお話を聞いていくと、反戦の思いが、酒井さんの中に貫かれていて、それがやはり基本ですか。

県議 そうですね。おじいさん・おばあさんから、この近くに防空壕を掘って入ったんだよみたいなことを聞いていましたからね。そういう歴史を伝えていかなくてはいけないと思っています。前橋市民文化会館に、前橋空襲の資料館ができてよかったなと思いますけれども、そういうのをきちっと、物として残していくのは大切なことだと思います。

知事 やっぱりその反戦の思いというのは強いですか。

県議 そうですね。大学で憲法を学んで、なぜ憲法ができたかと言えば、戦争の反省の上にできたわけですから。それをしっかり踏まえて、教育、文化、政治も含めて行っていくべきだなと思います。そこが原点ですから。

知事 漫画の話を聞いたのですが、音楽もお好きで、奥様と群響のコンサートに行くとおっしゃっていましたね。ショパンや、モーツァルトが好きとお聞きしました。

県議 ベートーヴェンも好きですし、主にクラシックが好きです。最近は大バハとか、無伴奏組曲とかいろいろ。

知事 本当に好きなんですね。クラシックの魅力は何ですか。

県議 心安らぐところですかね。でもやっぱり、歴史を紐解くと、シオスタコーヴィチだとか、反戦という思いで作られた、そういうメッセージ性があるわけですから。癒されるだけじゃなくて、そういうところも、しっかり踏まえていかないと。クラシックをただ聞くだけじゃなくて、深めていくことも大事かなと思っています。

知事 いつも議会では厳しいことばかり言われていますが、こうやって話してみると、人間性もわかって、酒井さん面白い方だなんて思いました。

県議としてやりたいこと

知事 政治家としてこれだけはやりたいというものがあったら、お願いします。

県議 人権を守るとのことと、平和を守ることです。具体的には戦争遺跡の保存に向けて、いろいろ取り組んでいきたいなと。富岡製糸場が世界遺産に登録され、上野三碑も世界の記憶に登録されています。近代化遺産、岩鼻の火薬製造所とか、そういう戦

争遺産もしっかり残していくというのが大事だと思います。

群馬県の魅力 30 秒 PR

知事 30 秒で群馬の魅力を語っていただけないでしょうか。

県議 自然豊かな土地。文化としては群馬交響楽団もあり、非常に誇るべきものです。みやま文庫にしてもそうですし、上毛かるたもそうですし、そういう文化が非常に豊かで優れているというところを、もっともっと誇りにしていきたいなと思います。

富岡製糸場や上野三碑も大事ですし、古墳とか知られてないこともいっぱいあるので、埋もれた歴史や文化を掘り起こしていく作業というのは、大事なかなと思います。

知事 ありがとうございます。私としては個人的に、小説家としての酒井さんの復活を願って、SF小説を書いてほしいということだけ申し上げておきます。

今日もあっという間でしたが、共産党の酒井さんといろいろ率直な対談をさせていただきました。本当にありがとうございました。

きっと、酒井宏明さんの人柄はこれを見れば伝わるはずです。普段はなかなか伝わらないから。今度、お茶飲みに行きましょう。よろしくお願いします。そのときは、政治の話はなしで(笑)。本日はありがとうございました。

県議 どうもありがとうございました。